

科目名	現代文	使用教材	教科書 「高校生の現代文」(明治書院) 副教材 「新成 現代文」(尚文出版) 日本語検定委員会編「日本語検定に挑戦」 (東京書籍)
単位数	3年次：4単位必修 ベーシック(通年)	評価方法	定期考査・小テスト 授業への取り組みの様子 提出物(課題・プリント・ノートなど)

### 学習到達目標

- ◆基本的な学習の躰(挨拶、姿勢、発声、話し方、視線)を再認識し、徹底する。
- ◆近代以降の様々な文章に触れる中で、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の力を伸ばし、総合的な言語能力を養い、日常用いている言葉に意識を向け、適切な表現を身につける。
- ◆ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を養う。
- ◆問題集の演習を通して基礎から応用まで幅広く対応する力を身につける中で、進路を見通した学習を計画的に進める能力を養う。

### ★授業について

授業では教科書の内容だけではなく、進路選択の際必要になってくる文章力を養成するため、日本語検定対策の副教材を使用し文章能力を高めます。そして、11月に行われる日本語検定中級(高校生程度)合格を目指します。また、自学自習の中で現代文の実践的な力をつけるために、随時問題集を使用し、来るべき就職・進学等の試験にそなえます。すべては自分の力をつけるためです。自主的に取り組みましょう。

**日本語検定(中級・11月)に挑戦!!**

### ★自主学習について

◎予習 次の時間に学習する範囲をしっかりと読んでおきましょう。分りにくい語句については辞書を活用して意味をまとめておきましょう。授業を充実させる自分なりの工夫を考えてみましょう。

◎復習 授業中にまとめたノートや挑戦した問題の見直しをしっかりと行いましょう。また、小テスト実施後は、間違ったところをそのままにせず、再度解き直しを行いましょう。

### ★評価について

- 評価の観点 ①各単元の基本的知識の定着を授業・考査を通じて評価します。(知識・理解)
- と対象 ②授業に対する意欲・姿勢、またノート・プリントなどの提出状況とその内容を見ます。  
(関心・意欲・態度)
- ③単元の終了時に感想文、またはレポートなど作成してもらいます。日本語検定に向けて課題を出しますが、その内容も見ます(書く能力)
- ④感想文、レポートを発表してもらい、その態度を見ます。(話す・聞く能力)
- ⑤日本語検定における学習の成果を評価します。(知識・理解)(関心・意欲・態度)

### ★進路

大学入試に必要な文章読解力・表現力は一朝一夕につくものではありません。評論文・小説・随筆等に教科書や問題集の中で触れることに加え、自主的な読書によって優れた表現を体感する機会を積極的につくってほしいと思います。また、全国模試も予定されています。自分の実力を客観的に知り、弱い分野を分析し、次に生かすことが大切です。模試直しを徹底する中で、自ら課題を見つけて学び方を考える姿勢を身につけていきましょう。

# 学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 \*心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4	2	オリエンテーション	・「現代文」での学習のねらい、決まりを理解する。	◆学習の終始と決まりの定着 ◆聞き方・話し方の確認
	3～	随想「十六歳のとき」	・随想を味わい、筆者独自の見方、感じ方をつかむ。 ・人生についての問題意識を正しくつかむ。	●随想の理解 ●筆者の考えを理解 ◆学習習慣の定着 *自分の生き方について考える
5	2～	小説「山月記」	・小説についての理解を深め小説の面白さを味わう。 ・主人公の思いを読み取る。 ・作品の虚構性について考える。	●小説とは何か ●主人公の心理描写 ◆日本語検定ワーク *人間にとって本当に大切なものは何か考える
6	2～	評論「コンコルドの誤り」	・評論の論旨を理解する力をつける。	●文章構成について ●評論文とは ◆日本語検定ワーク *人間が陥りやすい思考回路に陥らないよう注意する ◆考查に対する姿勢や勉強の仕方を考える。
7	・物事の捉え方・考え方を深める態度を身につける。			
8	・目標を設定し計画的な学習を行う。 前期末考査			
9	1～	評論「失敗に学ぶ」	・発展的に問題をとらえ自分たちの課題でもあることを理解し、考え、意見できるようにする。	●筆者の意見の理解 ●文章構成の理解 ◆日本語検定ワーク *自分の失敗をプラスに変えるよう発想の転換をする
10				
11	4 1	日本語検定対策強化週間 日本語検定	・問題演習を通して弱点を知り、補強する。	●日本語の円滑な運用 ◆日本語検定ワーク
	2～	俳句「たんぼぼ」他	・俳句独特の表現方法に慣れる。 ・俳句の鑑賞のしかたを習得する。	●季語や句法 ●主題の読み取り *俳句に詠まれた感情を読み取る
12	1～	小説「こころ」	・作品の時代・場所・登場人物の状況などをつかむ。 ・小説の読解技術を習得する。 ・人物の相互関係をつかむ。	●夏目漱石とその作品について ●登場人物の心情変化 *真の友情とは何かについて考える
1				
2				
3			後期末考査	

科目名	国語表現Ⅱ	使用教材	教科書 「国語表現Ⅰ」(第一学習社) 副教材 「新聞論説 演習ノート」(京都書房) 漢字検定問題集「ステージ」 (日本漢字能力検定協会)
単位数	3年次：2単位必修 ベーシックコース	評価方法	小テスト、定期考査 授業への取り組みの様子 提出物、感想文・レポート 検定

### 学習到達目標

- ◆基本的な学習の躰(挨拶、姿勢、発声、話し方、視線)を再認識し、徹底する。
- ◆国語で適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。
- ◆思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。
- ◆就職・進学、また社会に出てからの力になる漢字学習を漢字検定に挑戦する中で継続して行い、総合的な言語力を高める。

### ★授業について

「国語表現Ⅱ」の授業では、2年次での学習を踏まえ、「表現の実践」「表現の探求」という単元を通して、「話す」「聞く」「書く」「考える」ことについて、生活に役立つ表現活動を行っていきます。就職や進学、また社会に出てからも必要とされる文章力を、意見文やレポートを書く練習を通して高めていきましょう。副教材として新聞論説問題集なども活用し、近年挙げられている問題を把握する中で、様々な分野の知識を身につけることができる時間も設けていきます。また、1・2年次に引き続き、漢字学習にも力を入れていきます。漢字検定2週間前から対策強化週間とし力を補強していきますので、目標級取得を目指して努力を重ねていきましょう。

**目指せ漢字検定2級取得！！**

### ★自主学習について

- ◎予習 次の時間に学習する範囲をしっかりと読み、分かりにくい語句については辞書を活用して意味をまとめておきましょう。授業を充実させる自分なりの工夫を考えてみましょう。
- ◎復習 授業中にまとめたノートや挑戦した問題の見直しをしっかりと行いましょう。また、小テスト実施後は、間違ったところをそのままにせず、再度解き直しを行いましょう。

### ★評価について

- 評価の対象 ①定期考査 ②授業への取組み方 ③提出物 ④感想文・レポート ⑤検定
- 評価の観点 ①各単元の基本的知識の定着を授業・考査を通じて評価します。(知識・理解)  
②授業に対する意欲、姿勢を観ます。(関心・意欲・態度)  
③ノート、小テスト、プリントなどの提出状況とその内容を観ます。(思考・判断)  
④感想文やレポートの内容、発表時の態度などを評価します。(書く能力)(話す・聞く能力)  
⑤漢字検定(知識・理解)(関心・意欲・態度)

### ★その他

近年の大学入試、特に推薦入試やAO入試また就職試験では、小論文・作文が必ずといっていいほど出題されます。教科書や新聞論説で取り上げられている内容をおさえ、自分の目指す進路先に必要な知識はもちろん、他分野についても理解を深めていきましょう。また、漢字学習についても漢字検定問題集「ステージ」を活用して読み書き、送りがな、四字熟語などを学習し、生活の場面で生かしていくことができる力を身につけていきましょう。

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 ＊心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4	2	オリエンテーション	・「国語表現Ⅱ」での学習のねらいや授業での決まりについて理解する。	◆学習の終始と決まりの定着 ◆聞き方・話し方の確認
4 5	3 ~ 2	「表現の実践（三）」 意見・主張 —意見文を書く —ディベートをする	・意見文の形式や種類、意見文を書く意義について理解する。 ・意見文を書く手順について理解する。 ・構成に注意し、主題に沿った意見文を書く。 ・各自の意見文をもとに、建設的なディベートを行う。	●論文・論説・評論の違い ●意見文が生活にどのように役立つかを話し合う。 ＊各自の意見を発表・交換し合う中で、自身の考え方を深める。 ＊仲間の意見に耳を傾け認め合う ◆就職・進学における、面接や集団討論のあり方について考える。
5 8	3 ~	「新聞論説・基本編」 —医療 赤ちゃんポスト —労働 われら「名ばかり管理職」 —環境 スイマセン 吸えません —経済 コンビニ 24時間論争 —社会 集団の知恵 —人権 子どもを性暴力から守るには —芸術 自費出版をめぐるトラブル	・近年挙げられている各分野での問題について理解する。 ・構成に注意し、主題に沿った意見文を書く。 ・現代を読み解くキーワードを理解する。 ・目標を設定し計画的な学習を行う。	●各分野で問題になっている事柄についての論説を読み、要旨をまとめる。 ●意見文を書く手順をもとに、各問題に対する自分の意見を書く。 ◆各自の進路に応じた個別演習、添削を行う。 ◆考査に対する姿勢や勉強の仕方を考える。
9	1・2	前期学習のまとめ	7月・前期考査	
10	3・4	漢字検定対策強化週間	・自分の弱点分野を分析し、計画的に学習を進める力を養う。	◆学習進度表や得点表を活用する。
11	1 ~	「表現の探求」 日本語の特徴 —トカ弁 婉曲表現の現在 —古語雑談「やさし」の語史	・日本語と英語との違いや日本語の特徴について理解する。 ・「とか」という表現から日本的とされる心理を理解する。 ・「やさし」の意味の時代的変遷を理解する。	●文法、語彙、音節の分野から日本語の特徴をまとめる。 ●日本語の表現の背後にある話し手の心理についてまとめる。 ・「やさし」が「恥じらいの美学」とされる経緯についてまとめる。
12 1	1 2	「新聞論説・応用編」 —世界 新たな理念が必要 —教育 マンガ館 学びの場 —文化 「美しい過去」という罨 —社会 守る権利と表現する権利	・近年挙げられている各分野での問題について理解する。 ・構成に注意し、主題に沿った意見文を書く。 ・現代を読み解くキーワードを理解する。	●各分野で問題になっている事柄についての論説を読み、要旨をまとめる。 ●意見文を書く手順をもとに、各問題に対する自分の意見を書く。 ◆各自の進路に応じた個別演習、添削を行う。
1 2	3 ~	クラス文集づくり	・3年間を振り返り、自分の思いを文章にし、クラス文集としてまとめる。	＊3年間の集大成として文章を書く中で内省し、仲間へ想いを伝える ◆考査に対する姿勢や高校生活の締めくくり方を考える。
			学年末考査	

		後期学習のまとめ		
			後期考査	
3				

--	--	--	--	--